

太田生涯学習報

# はばたき

■発行 秋田県大仙市教育委員会 太田分室  
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3  
TEL 0187-88-1119・FAX 0187-88-2044  
太田分室・太田公民館・給食センター

## 目次 表紙・和やかで元気ある講座から

小松由佳さんの講演会	2ページ
親子読書・新刊案内	3ページ
学校・家庭・地域連携ネット	4ページ
町史編さん・スポーツ	5ページ
俳句・短歌紹介・輝人さん	6・7ページ
教育随想・太田の子育て	8ページ

題字：<sup>かせん</sup>木元嘉扇 (本名：悦子) さん・大町



楽しく語り合いながら学習できるのが講座の魅力  
(パッチワーク講座)



公民館前庭花壇「パンジー」可憐な春が…



全員で色ぬり (紙風船づくり)

## 和やかで元気のある講座から

太田公民館では、冬期間女性を対象とした講座を開設しました。料理・鈴木陽子さん、押し花・高橋レイ子さん、生け花・田口リヨさん、編み物・佐々木よし江さん、パッチワーク・加藤律子さんをそれぞれ講師に迎えての5講座です。参加者は前年を上回る73人でした。

参加者の要望により、予定より1回増やし計5回となったパッチワーク講座(写真上)は、7人が受講しました。人の生き方、世間話などに花を咲かせながらも、「キルティングには細い針の方がいいよ」、「肩が凝ってくるので休み休みやってね」などのアドバイスを受け、作品に取り組んでいました。また、「押し絵の残り布を残しておいたので、パッチワークで活用できたよ」、「口ではこのようにやればいいと言えるけど、手の方がどうもね…」と和気あいあいのムードが部屋いっぱい広がっていました。

「加藤律子先生をはじめ、皆さんからよくしてもらっているので、この講座楽しいよ」とは異口同音に発せられた受講者の声でした。

生涯学習の一環として位置づけられている公民館講座は、地域の人々が集い、学び、行動するものとして人気があります。

昨年の12月1日からスタートした講座は、2月23日をもって一応終了しました。

# ふるさと講演会が開催されました

登山家 小松由佳さん



パキスタンと中国国境にまたがる世界第二の高峰・K2登頂に成功し、県民栄誉章に輝いた秋田市出身の登山家・小松由佳さん(24)の講演会が一月十五日太田文化プラザで開催。六〇〇名の小・中・高校生・市民を魅了。父は太田地域出身、祖父母は太田地域在住です。



熱い思いを語る

昨年の夏、母校東海大学山岳部創部五十周年記念K2登山隊への参加を誘われました。K2(標高八六一メートル)は世界第二の高さを誇る山です。山全体が岩の固まりで、氷が全体に張りつめています。このK2に登る人の約三割は命を亡くしています。このように遭難者も多いことから、登山家の間では「非情の山」と言われているほどです。八〇〇キロもの荷物は日本

という状態に陥ります。そんなことで一キロ前進するのに三時間もかかります。また、登山では雪崩と落石はとても恐ろしいものです。冷蔵庫か学習机大の岩石がもの凄いスピードで続けざまに落ちてきます。この時、爆風が起こります。ですから、テントを張る場所は危険のない場所を選んで決めます。

から三ヶ月もかけてパキスタンの登山道まで運びます。その後、現地の住民をポーターに雇います。運び賃は日給六〇〇円。現地の平均日給が三〇〇円ですから、かなり高額な賃金です。六月二〇日、標高五一五〇メートルの地点にベースキャンプ、六四〇〇メートルに第一キャンプ、七九〇〇メートルにアタックキャンプを設けました。頂上を目指すメンバーは蔵本、青木両隊員と私の三人でした。途中、蔵本隊員が急病のため下山。私と青木隊員の二人となりました。私と青木隊員の二人となっ

てしまいました。もうこれはやるしかないという決意、頂上を目指すことにしました。標高五〇〇〇メートルになると平地の三分の一にも満たないほど酸素が薄くなり、体はだるく吐き気を催します。その上、すべて面倒臭くなってしまう

という状態に陥ります。そんなことで一キロ前進するのに三時間もかかります。また、登山では雪崩と落石はとても恐ろしいものです。冷蔵庫か学習机大の岩石がもの凄いスピードで続けざまに落ちてきます。この時、爆風が起こります。ですから、テントを張る場所は危険のない場所を選んで決めます。

アタックキャンプを出発して、八月一日午後四時五〇分、平地の無い雪壁を一四時間もかかって二人で無事K2の山頂に立ちました。お互い交わす言葉はいらないものでした。ゴーグルの中は涙でいっぱいになり、どう言い表したらいいのかからない感動の連続でした。

曇り空も次第に晴れてきたので、山は私たちを受け入れてくれたのだと思いました。そして、頂上に立つてみて地球は丸いのだと感じました。日本の国旗を掲げ、「ああ、私は生きているんだなあ」と生きていることの喜びを実感し、体が熱くなったことを覚えていきます。

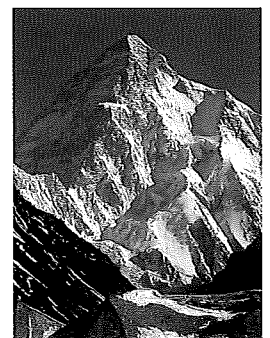


ついに山頂に到着

「あつ、どうしたことだ」と感じた後、意識がもうろうとなり眠気に襲われました。「ここで眠ってしまったらおしまいだ」と雪の斜面に二人寄り添って座り、ロープで体を岩に結びつけました。朝を迎えるまではかなり時間があります。そこで、青木隊員と互いに、「おい！生きているか？」と体をトントンとつつきあって安否を確かめ合いました。それでも午前二時半ごろには少し眠りました。やがて、夜明けが近いことを感じさせるように、うす紫色の神霊のような雲海が広がりました。静かに、しかも一歩一歩踏みしめて下山しました。途中、K2を目指したであろう残されたテント内で、ザックや人骨などを見つけてきました。

六四〇〇メートル地点の第一キャンプに到着。残留隊員・シエ

この世に生まれてから死ぬまで、たった一回きりの人生です。悔いを残さないように生きていきたいと思えます。



鋭く切り立つK2

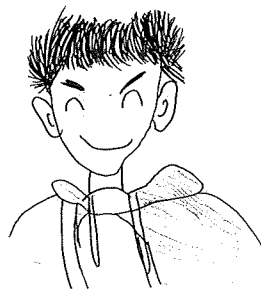
親子読書 ⑨

この本だーりすぎ

「まほうの夏」を読んで

太田北小学校二年

ふじさわ 太希



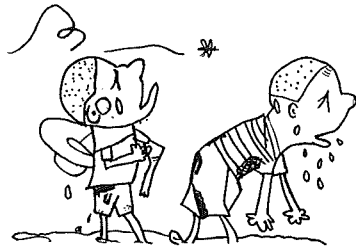
ぼくの顔

ゆいとけいのきょう弟は、夏休みなのにテレビゲームばかりやっていて、すごくつまらなそうでした。でも、おじさんから、「あそびにこないか」とはがきが来てとびあがつてよるこんでいました。ぼくは、きょう弟だけでりよ行するのがすごいなあと思いました。

この絵本で、いつもわらうところは、虫とりに行って木からおちるところとヤブカにいろんなところをたくさんさされたこと、それにどしゃぶりの雨がふってきて、「ぼく

たちは、ぐちゃぐちゃのボコボコのどろどろになった」というところでした。

雨がふってきたときの絵は、えんぴつでめちやくちやにかいたみたいで、人が見えないくらい雨がふっているように見えました。ぼくもにいさんと弟の三人でこの絵の中に入って、あそんでみたいです。



太希くんの感想画

(父) 健吾

「人形は顔が命」とはよく言ったものだが、「絵本は絵が命」だ。書店に並べられた絵本から私がこれを選んだのは、

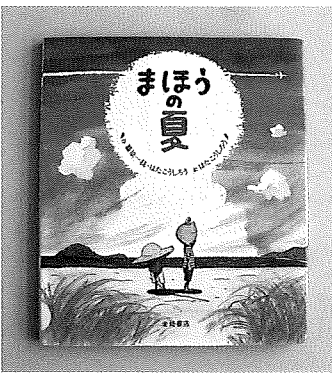
まさに絵が気に入ったからだ。主人公の兄弟が、うちの長男と次男に似ている。いや、次男と三男に見える気もする。

都会に暮らす兄弟が、田舎のおじさんのところで過ごした夏休みの物語。

真つ黒に日焼けした田舎の子と遊ぶ様子、釣りたての魚や採りたての野菜が並ぶ食事をほおばる笑顔、パリパリのシートで早寝早起きをするようになる変化がとても鮮やかに描かれていて、現に田舎に暮らすこつちまで改めて幸せな気持ちになる。

兄弟は、きつと来年もここに来るのだろうと想像しながら、最後のページを閉じた。

作 藤原一枝・はたこうしろう  
絵 はたこうしろう・岩崎書店



太田図書館の新刊

11/1~11/6 購入分

■さみしがりのやのサンタさん  
イラスト 太田知子・作 内田麟太郎  
絵 沢田としき

■いつばいなかよし  
作・絵 かさいまり

■ぼくの家から海がみえた  
小林 豊

■ぼくがいつばい  
作・絵 いもとようこ

■えんまとおつかさん  
作 内田麟太郎・絵 山本 孝

■あたし いいこなの  
作・絵 井上林子

■パーティーがはじまるよ  
作 北川チハル・絵 ひだきようこ

■わたしのおひなさま  
作 内田麟太郎・絵 山本 孝

■かえるのうらめしやさん  
作 戸田和代・絵 よしおかひろこ

■ばけけ町のべろろんまつり  
作・絵 たごもりのりこ

■大型版あらしのよるにシリーズ⑦  
まんげつによるに  
作 きむらゆういち・絵 あべ弘士

■中原の虹 第二巻  
浅田次郎

■みちのく・民の語り③  
秋田杉を運んだ人たち  
野添憲治

■ふゆのまほうつかい  
さくジュリー・モンクス  
やく代田亜香子

■みつあみ みつあみ  
水野 翠

いろんな絵本の楽しさを

大仙市立太田みなみ幼稚園

それぞれの年齢の子どもでも興味をもって自然に絵本と親しめるように、たくさん絵本を並べ「絵本コーナー」を設けています。子どもたちがホッとできるように畳や長イスを用意して座りこんでもすぐ手にとることが出来ます。

ひとりでグループでページをめくってみています。こわい話で手をギュッと握りしめたり、まほうがとける絵で安心したり、先を予測して笑顔が出たり、絵本の世界にすっぽり入っている様子が見られ、私たちが嬉しくなります。

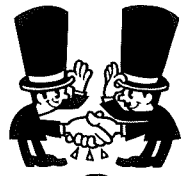
子どもたちは、「絵本の楽しさを知ってほしい」「豊かな心と夢を！」と願っています。



～本はともだち～

本は子どもにピッタリ合った宝物なのです





# 大きく ふくらんだ 連携の輪

## 地域の教育力を生かす その2

### 大仙市立太田東小学校

太田東小学校では、「地域に開かれた学校づくり」を目指して努力を重ねてきています。特に、生涯学習の拠点である公民館との連携を図りながら地域の教育力を学校の中に生かす取り組みを進めています。学校側からも社会教育との連携を深めて、専門性や幅広い教育活動を充実させようというのです。

家庭科室から漂ってくる香ばしい匂い。覗いてみると楽しそうに活動している子ども達や大人達の顔、顔、顔。誰かに教え伝えたい、誰かから学び覚えたいという気持ちで触れ合うときの活動の素晴らしさが感じられた一時でした。

太田東小学校では、フィールドワークやクラブ活動、勤労体験学習等で、地域の方と子ども達がいろいろなことで触れ合える機会を設け、地域の教育力を子ども達のために生かせるような教育活動に取り組んでいます。地域の宝である子ども達を地域の方々が持っている技や能力等、地域の力を生かしながら育てていくことは計り知れない効果が期待できるからです。教育目標である『夢いっぱい』花の里太田で



地域の人たちと触れ合う子どもたち

くげんき・ほんき・こんきく」の実現のため、これからも家庭や地域との信頼と連携をより一層深めながら、子ども達のためになる教育活動に取り組んでいきたいと思っています。

(教頭 石川洋樹)

## 大空に夢のせて 『紙風船づくり』

県立大曲農業高等学校太田分校

太田町の活性化に向けた冬のイベントとして定着した『太田の火まつり』が二月十七日に奥羽山荘西側広場で開催されました。その行事中、太田地域の各学校も参加する「紙風船上げ」がありました。地域と共にあ



「スギッチ」づくりに励む

組みました。考え『紙風船』の作成に積極的に取り

今年も、太田地域連合青年会の高橋さん、伊藤さん、鷹背さんのご指導



幻想的なメルヘンの世界に誘う  
その準備に大忙し

のものと、総合的な学習の時間を活用し、一・二年生がそれぞれ四班に分かれ、八基の紙ふうせんづくりに挑戦しました。例年同様、テレビやマンガのキャラクターを書いたり、デザイン化された文字などが描かれましたが、今年秋田県で開催されます「秋田わか杉国体」のマスケット「スギッチ」も登場するなど、アイデアを絞った多彩な紙風船ができあがりしました。どれも力作揃いで、小・中学生作成の紙風船とはひと味違うものとなっています。

「太田の火まつり」本番では、生徒が一生懸命作成した色鮮やかな八基の紙風船が、美しく優雅に舞い上がり、太田の夜空を彩ることを期待するとともに、太田の伝承行事のますますの活性化を祈念いたします。

(教頭 相澤康一)

# うれしいニュース2 (ハ▽)



大仙市芸術文化賞受賞の湯野澤哲太郎さん (80歳・田ノ尻)

湯野澤哲太郎さんの功績は昭和五十九年、太田町野路短歌会を結成されたことから始まり、その後毎日新聞社賞、秋田県知事賞、秋田県歌壇功労賞を受けるなど、輝かしい功績を残されています。特に、太田地域の芸術文化振興に大きく貢献されており、特筆されます。

## 町史編さんより まもなく刊行『太田町史』

『太田町史』がまもなく刊行します。

(通史編 一、二〇〇ページ 地誌・年表編 三〇〇ページ B5版2冊1組)

原初々現代までを検証した通史編のほか、人々の暮らしや文化がテーマの民俗編、部落・集落の歩みにスポットをあてた地誌。そして太田町史年表と、さまざまな視点から太田の歩みをまとめました。

四月以降、太田地域の各家庭に頒布(無料)の予定です。

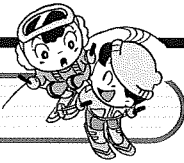


おめでとう、高橋繁太郎さん！  
高橋さんは第六十二回国民体育大会「秋田わか杉国体」冬季大会スキー・大回転成年男子Cで出場六回目にし、初の六位入賞に輝きました。  
長年走り込みを欠かすことなく、続行中とか。夏は野球、冬は高校当時より大台スキー場に連日通い続けるなど、体力づくりに専念されておられる張り切りマン。介護老人保健施設八乙女荘勤務でいます。



入賞を決め、賞状を見せる高橋繁太郎さん (38歳・田ノ尻)

## ナイター親子スキー教室



平成18年度ナイター親子スキー教室(幼稚園年長から小学校3年生までの初心者、初級者が対象)が1月15日から2月1日まで大台スキー場で行われました。

今年度は16組35人の親子が参加し、各レベルに合わせて、9名の講師の方々から丁寧な指導をしていただき、全くスキーができなかった子どもが、2回目のスキー教室からリフトに乗って滑れるようになるまで上達しました。

今回のスキー教室は暖冬による雪不足のため1回中止になりましたが、後の5回は何とか行うことができました。参加していただいた皆様ご苦労様でした。また、講師の方々には親切、丁寧なご指導をしていただき、ありがとうございました。

来年度も行う予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。



勢ぞろいしたナイター親子スキー教室参加者＝大台スキー場

### ● 各種大会報告 ●

秋田県ジュニアアルペンスキー大会 (1/27～28・花輪スキー場)

- ◆大回転 ・中学校 ②草薨涼太 (太田中)
- ・小学校6年 ⑦高橋万里文 (太田東小)

第37回大曲仙北小・中学校スキー大会

(1/28～29・たざわ湖スキー場)

- ◆大回転 ・小学校4・5年男子 ②高橋康太 (太田東小)
- ・小学校6年女子 ①鈴木 宥 (太田東小)
- ◆回転 ・小学校女子 ①鈴木 宥 (太田東小)
- ・中学校男子 ②草薨涼太 (太田中)

第5回県シニア・レディーススキー技術選手権大会

(1/28: たざわ湖スキー場)

- ◆男子の部 ・シニアⅡ ①高橋 豊幸 (太田町スキー連盟)
- ◆女子の部 ・レディースⅡ ①草薨利恵子 (太田町スキー連盟)

第30回県ドッジボール選手権兼

第16回春の全国小学校ドッジボール選手権大会秋田県大会

- ・決勝 太田風の子ハリケーン 9-8 野石ドンクシャーズ

- ・ルーキー低学年の部  
決勝 能代ドリームスター 6-0 太田風の子トルネード  
大仙市体育協会 18年度スポーツ賞

◆栄光賞

- ・上村美南 (太田南小5年):  
第49回小中学生全国空手道選手権大会 個人戦 女子の部 優勝
- ・根本哲史: 全日本大学対抗選手権大会 4km個人追い抜き競走 2位
- ◆奨励賞 (個人)
- ・井上 卓 (富士大学2年):  
東北総体自転車競技4km速度競走 3位、個人ロードレース 114km 3位
- ・伊藤博人: 東北総体自転車競技個人ロードレース 114km 2位
- ・藤澤鯨太 (大農太田分校):  
県民体育大会自転車競技大会ロードレーサーの部 4km速度競走 優勝
- ・高橋優太 (大農太田分校): 同ワンディ・ロードレース 優勝
- ・本多幸生 (太田南小6年):  
東北地区空手道選手権大会 個人戦小学6年 女子の部 優勝

# 情報アラカルト

**第33回 みんなで創る 学びの集い**のご案内

未来を創るわだち色

平成19年 **3月3日・4日**  
太田文化プラザ  
午後1時～午後4時

3日	12:00- 祝賀式・花いっぱい運動	13:00- 展示発表
4日	9:00- みんなで歌おう	9:00- 作品展示・鑑賞
	9:30- こども広場	9:30- お花壇でも相談コーナー
	10:00- お花壇でも相談コーナー	10:00- 作品展示・鑑賞
	15:00- 親子音楽コンサート	15:00- 作品展示・鑑賞

お友達・ご近所の方をお誘い合わせの上、ぜひおいで下さい。

「みんなで創る学びの集い」イベントのご案内

**3/3日** 各種表彰式  
表彰状授与、お祝い言葉、お祝い歌などを行います。

**3/4日** 作品展示  
各校の力作を展示し、鑑賞していただきます。

**3/4日** 作品発表  
各校の力作を発表し、鑑賞していただきます。

**3/4日** 親子音楽コンサート  
各校の力作を発表し、鑑賞していただきます。

**春のさくらコンサート**

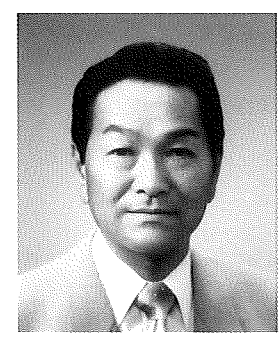
3月4日(日) 入場無料 in OVA

太田文化プラザ

学びの集いお祝い券

学年	金額
小学生	100円
中学生	200円
高校生	300円

第33回みんなで創る学びの集いが、3月3日(土)・4日(日)に太田文化プラザで開催されます。演芸発表や作品展示、仙台フィルハーモニー管弦楽団によるコンサートもあります。皆様お誘い合わせの上、お越しください。



小松 真希人 (齊内)

ねっこばって

地域協議会で、公民館のトイレ改修予算について質問した。「学童保育

を行っているが、洋式でないで使用するのに難儀する子どもがいる」との答えだった。

## ☆わが町の「輝人」さん☆

遡って、平成三年一月十二日の朝日新聞。「下腹部に力を入れて腸の老廃物を絞り出す事なんですよ、お通じとは」便秘に悩む都会の若い女性との何気ない会話の中で、医師の発した言葉がのっていた。おむつがとれ、洋式トイレにちよこんと座つて用を足す。力む(ねっこばる)事を親が教えなかった為に本来の自然な行為を忘れてしまった結果であるとの記事であった。

さてさて、そこまでの心配は無用だと思いが、生活様式の変化は、確実にここまできてきているという証でもある。

(大仙市太田地域協議会委員)

## 卒業バイキング給食で楽しく

このほど六年生の各小学校卒業をお祝いし、卒業バイキング給食が行われました。

太田北小学校の卒業生十名は二月八日。太田東小学校の卒業生三十名は二月十三日。また、太田南小学校の卒業生二十一名は二月二十八日にそれぞれ太田学校給食センターを会場に行われました。

毎日の給食メニューは六品目程度ですが、卒業祝いメニューとあって、二十三日目もあるメニューの中から選んで食べられるとあって、毎年卒業生から好評を得ております。

メニューを紹介します。  
野沢菜チャーハン・ヘルシー焼きそば・焼きおにぎり・みそ汁・子持ちししゃもフライ・エビグラタン・イカ下足唐揚げ・チーズウィンナー・まるたこくん・鶏肉の味噌アーマンドがらめ・ピタパンの野菜包み・ベーコンポテト焼き・ハムとアスパラのオニオンチップサラダ・みかん・キウイフルーツ・いちご・牛乳・ミルクメーカーココアアップルトマト・マスカットキャベツ・イタリアンレモン・ブラットオレレンジなどでした。

センターに入ったので、その清潔さにおどろきました。八年も使っているのに・・・！なべの大きさにもとてもおどろきました。今度来る機会があったら作っているところもみたいです。

料理は見たためにもきれいで味も最高でした。全部とてもおいしかったです。だから、残さず食べられました。本当は全種類食べてみたかったです。満腹で食べられませんでした。これからもおいしい給食を作ってください!!

太田東小学校六年 鈴木 宥

## もち食い大戦争!!



今日は私達のためにたくさん種類の料理を作ってください。ありがとうございます。私は、初めて



いつもと違った給食に大喜びです!

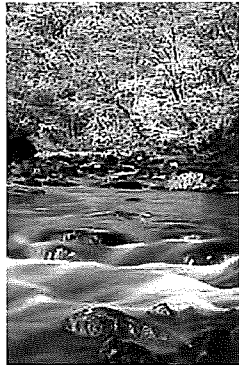
サークル・さあくる



太田町民謡同好会

代表 高橋 昇幹さん  
 (連絡先・太田公民館 88-1119)  
 練習日 毎月第1・3月曜日  
 場所 太田公民館  
 民謡の好きな方、一緒に楽しみませんか。お待ちしております。

おやつ、こんな展示会が…  
**「真木真昼の四季」**  
 写真コンテスト  
 入賞作品展



最優秀賞「早瀬」  
 高橋直美さん (太田町三木町)

- 真木真昼県立自然公園指定30周年記念事業の一環として実施しているものです。
- 主催 大仙市・美郷町・真木真昼県立自然公園を美しくする会
- 場所・期間 太田文化プラザ 4月30日(月)まで

田教室  
 俳句 藤井 洋祐先生  
**十二月習作選**

裾野まで一直線に雪野原  
 湯たんぽの和さ眠りを誘いけり  
 背で群れを守りつ雁はひたすらに  
 大根の芯まで煮えて大晦日  
 聖菓切る子等うきうきと口ごもる  
 咲き切れぬつぼみそのまま菊括る  
 数々の懺悔織りなす風花に  
 冬雨や散歩道には傘の花  
 古釘に今年もかけし注連飾  
 お歳暮や潮の香のする結び解く

藤原 八重子  
 進藤 順子  
 高橋 睦子  
 大信田俊郎  
 高橋 良子  
 高橋 幾子  
 田口 栄徳  
 野中 竜雄  
 藤原 成雄

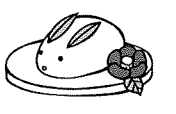


心豊かに

路会  
 野歌  
**十二月詠草より**

工場場に人声高く響きくる師走の街に急ぐ日続く  
 ハタハタは塩汁の味が一番と  
 若き看護師言いも言いたり  
 少年が少女が脱皮してゆくを  
 共にくらしして生き甲斐とせり  
 月光の冷気に揺れるすすき原  
 葉擦れかすかに鳴りいるごとし  
 たのしいねって片言の孫が言う  
 空え稲わら両手で飛ばし  
 手作りの歌声喫茶に飛び入りの  
 昔つこ語りにしばし聞き入る  
 独り居て静かな時間惜しみなく  
 短歌の勉力にひたりて過す  
 雲降る鮓を食う季節なり  
 家族揃いて美味しい笑顔

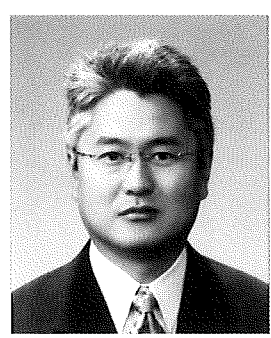
大信田田リン  
 湯野澤哲太郎  
 藤原ハル子  
 藤原 繁雄  
 浅利 繁雄  
 藤澤 宏子  
 藤原八重子  
 伊藤美智子  
 藤原 サチ



☆わが町の「輝人」さん☆

Vol. 15

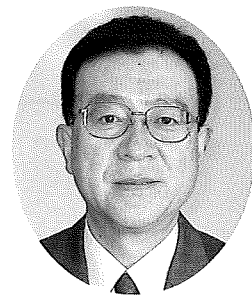
『家族力』から思うこと



ふじわら 藤原 鈴司さん (金井伝)

『家族力』は、平成十四年に『あかね空』で直木賞を受賞された、私の大好きな山本一力さんの作品です。本文には、『両親。兄弟姉妹。連れ合いと、その身内。そしてわが子。これらのひとが難局に際して、力を分散させず、ひとつに結集すれば…。ものごとの大半は片づけられると確信する。』とあります。

山本さんが語る家族論ですが、子供達や家族を取り巻く暗いニュースが多い今の時代を照らし合わせて見て、さらには自分を振り返ってみて、生きることに対して応援歌を授かったように感じられた本でした。人間一人では生きていけません。生きていく集団の基本的個体は家族です。そして地域があります。美しい国づくりや教育改革が盛んですが、基本理念は家族力からと考えたいです。(大仙市太田町PTA連絡協議会会長)



大仙市教育長  
三浦 憲一

ため、自分のためにチャレンジする大仙の子ども達を育成したいという強い思いや、積極的な生涯学習の振興によつて、やや広い視点から大人社会も充実した市民生活を送ることのできる地域社会の形成を願う気持ちは、ふるさとほど強く感じるのは自然ではないでしょうか。

さて、大仙の地に赴任して、特に太田地域の本来の自然が残されている風景や、県のモデル花だん最優秀賞を得ている中学校の花だんの移り変わりの妙趣に富む姿には感動せずにはいられませんでした。また、朝夕のボランティア活動に勤しんでいた、皆さんの始め、学校・園を大事にしているのはありがたいことです。

今、教育界には原点は一つなのではないでしょうか、鐘の音に例えると二つの響きがあるようです。一つは外なる響きであり、もう一つは内なる響きです。外なる響きが最近とみに大きく聞こえてきます。「子どもは、保護者、学校、地域と一体となつて育てるべき」「規範意識の徹底や学力の向上」など、教育改革の音がどんどん迫ってきます。一方で、いじめや不登校問題、命の教育など、内なる鐘の響きも心に染みるように反響します。

時代や社会、環境の変化が激しいのも事実ですし、価値観の変容も見られます。しかし、内外問わずどんな響きも意味ある音色として受け止め、子ども達の成長にとつて欠かすことのできない響きと捉えたいものです。

「共に」「創る」「考える」「開く」の精神のもと、大仙みんなで自身と夢を持つて生きていけるような地域や学校文化を創造したいものです。

編集後記

暖冬のため、予定されていた大台スキー場での全町スキー大会、タミヤカップスキー大会、東北マスターズ大会は残念ながら中止となりました。でも、親子ナイタースキー教室は全六回のうち、五回目まで実施することができました。

そんな中、雪不足で心配されていた第六十二回国民体育大会「秋田わか杉国体」冬季大会は、秋篠宮様をお迎えして無事終了。我が太田地域のホープ高橋繁太郎さんは、男子大回転青年男子Cで六位入賞という快挙。秋田県は男女総合一位で天皇杯に輝きました。

また、一月十五日に開催された登山家小松由佳さんの「K2の空を目指して」の講演会は、六百名の聴衆に感動を与えました。酸素の薄さに慣れるため、ベースキャンプから一ヶ月間登り下りを繰り返して訓練し、八月一日に十四時間もかかってやっと頂上に着いたのです。下山の緊張は登る以上に大きく、マイナス三十五度の死と隣り合わせの世界から無事生還できたことの偉大さに感動しました。

お二人に共通していることは、目標に向かって日ごろから並々ならぬ精進・努力を積み重ねさえすれば、成し遂げられるのだということを私たちに示してくれました。特に青少年に夢と希望を与えてくれるものとなりました。

「はばたき」の発刊については、さらに読者の皆様の声を反映させて、より役立つ情報誌にして参りたいと思っておりますので、お力添えをお願いいたします。

《編集委員》後藤道和、大信田英夫、草薨 稔、細川良隆、鈴木栄子

太田の子育て . . . . . No.113

“童謡詩人 金子みすゞ”

日本の童謡の隆盛期、大正後期にすい星のようにあらわれた美しい詩人金子みすゞ。

みすゞは詩人西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と称されましたが、26歳の若さでこの世を去り、いつしか「幻の童謡詩人」と語り継がれるようになりました。

半世紀をへた昭和57年、矢崎節夫氏の《みすゞ探し》の結果、手書きの3冊の童謡集が、弟山上雅輔の手元にあることがわかり『金子みすゞ全集』として出版、みすゞ甦（よみがえ）りが始まったのです。

この世のすべてにあたたかいまなざしを向けたみすゞの作品は、多くの人の心に深い感銘をよび、驚くほどの早さで日本中に、そして世界へと広がっています。

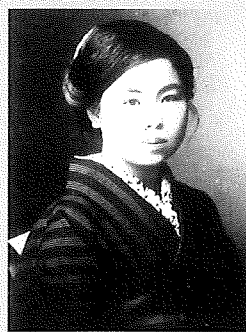
わたしと小鳥とすずめ

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのように、  
地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけれど、  
あの鳴るすずめはわたしのように  
たくさんうたは知らないよ。

すずめと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ童謡集『わたしと小鳥とすずめ』  
(JULA 出版局) より



童謡詩人 金子みすゞ

本名 テル。  
明治36年(1903年)  
山口県大津郡仙崎村  
(現在の長門市)に生まれる。

(写真提供：金子みすゞ著作保存会)